

麻薬・覚せい剤・大麻・
シンナーの乱用をなくそう!

YES TO LIFE, NO TO DRUGS



沖縄県薬物乱用対策推進地方本部
沖縄県薬物乱用防止協会
(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター

乱用される主な薬物

※薬物乱用とは？

薬物乱用とは、遊びや快感を求めるために医薬品等を本来の医療目的から逸脱して使用すること、医療目的にない医薬品を不正に使用することをいいます。医療目的以外の目的で使用すると、たとえ一回使用しただけでも乱用にあたります。

覚せい剤



現在、日本で乱用されている覚せい剤は、密輸など違法な手段により入手されたもので、白い結晶性粉末（グラニュー糖のような感じ）又は無色結晶（氷砂糖のような感じ）の形をしており、臭いがなく、水に溶けやすい性質を持っています。

覚せい剤は、非常に依存性（中毒性）の強い薬物で、その作用は、中枢神経を激しく興奮させ、「気分がスカッとした」、「疲れや眠気がとれた」ように感じます。

しかし、これは過度の興奮によって一時的に疲労感などが消えるだけのこと、実際の疲れなどは、何も改善されません。

そのため、覚せい剤の作用が消えると前にも増して「激しい疲労感」や「憂うつ感」などに襲われることになります。

このため、一度でも経験すると「一時的な快感」を再度体験したい欲求、薬物の作用の消えた後の「不快感」からの逃避などから次第に連用するようになり、精神や身体をぼろぼろにしてしまいます。

覚せい剤は「エス」、「スピード」、「アイス」、「シャブ」と別の呼び名で呼ばれている場合があります。

大 麻



大麻（マリファナ）



大麻樹脂



大麻たばこ

「大麻」は世界各地に分布しており、古くから繊維植物として利用されてきましたが、幻覚作用があるため、「マリファナ」として乱用されています。乱用を目的として加工されたものには、

- 乾燥させたもの（マリファナ、ハッパ、ブッタスティックと呼ばれる）
 - 樹脂状に固めたもの（ハシッシュ、チョコなどと呼ばれる）
 - 液状にしたもの（ハシッシュオイル、チョコなどと呼ばれる）
- など、様々な種類、名称があります。

大麻を使うと、「大麻精神病」といわれる幻覚、幻聴、興奮状態などになったり、「無動機症候群」といった、何もやる気のない状態などになります。また、知能機能の低下や生殖器官に異常がおこることもあります。

シンナー



シンナーとは「トルエン」、「酢酸エチル」又は「メタノール」を主成分に、ペンキなどの塗料を薄めて塗りやすくするための有機溶剤で、普通、ラッカーシンナーと呼ばれています。

乱用すると、情緒不安定や幻覚が見えたたり(自殺や事故につながる)、人格が変化したり、記憶障害が起きたり、無気力になったり、脳波の異常、心電図異常、視力障害などが認められます。

また、**脳が萎縮(脳が小さくなる)**こともシンナー乱用の大きな特徴です。

シンナーは「アンパン」、「ジュントロ」との別の名称で呼ばれことがあります。

麻薬・向精神薬



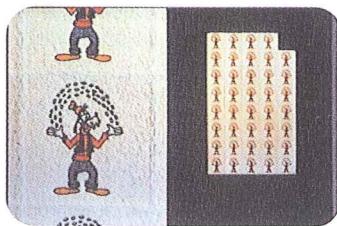
●麻薬 大きく分けると次のようにになります。

(1)あへん系麻薬 「けし」からつくられる、あへん、ヘロインなど

(2)コカ系麻薬 「コカの葉」からつくられる、コカインなど

(3)合成麻薬 MDMA、LSDなど。

けし



LSD



MDMA

MDMAは覚せい剤と似た構造を持つ薬物で、興奮作用と幻覚作用があります。MDMAを使うと幻覚、幻聴、精神錯乱、脳や神経の破壊、心臓や肝臓の機能不全、睡眠障害などになります。

化学薬品から合成された麻薬であり、「麻薬及び向精神薬取締法」の規制の対象となっています。通称「エクスタシー」と呼ばれ、錠剤やカプセルの形で密売されています。近年、検挙者数、押収量が急増し、特に中高校生を含む未成年者の検挙者数が増加し、問題となっています。

●マジックマッシュルーム

麻薬であるサイロシビン又はサイロシンを含有する幻覚性きのこ(ミナミシビレタケ、ワライタケなど)は平成14年から麻薬原料植物として指定され、栽培、所持、譲渡、譲受、施用した場合は「麻薬及び向精神薬取締法」で罰せられます。摂取すると中枢神経に作用して幻覚、幻聴がおき、吐き気、口唇のしびれ、発熱などの症状が現れます。



マジック
マッシュルーム

●向精神薬

向精神薬とは、睡眠剤、精神安定剤などの医薬品や試薬であり、「麻薬及び向精神薬取締法」で規制されているものです。※向精神薬も麻薬と同様に、勝手に売買することが禁じられています。

違法ドラッグ



違法ドラッグとは、麻薬又は向精神薬と類似の有害性(吐き気、頭痛、精神への悪影響や意識障害などの起きる)が疑われるもので、摂取すると多幸感、快感があるとして販売され、最近、乱用が拡大しています。

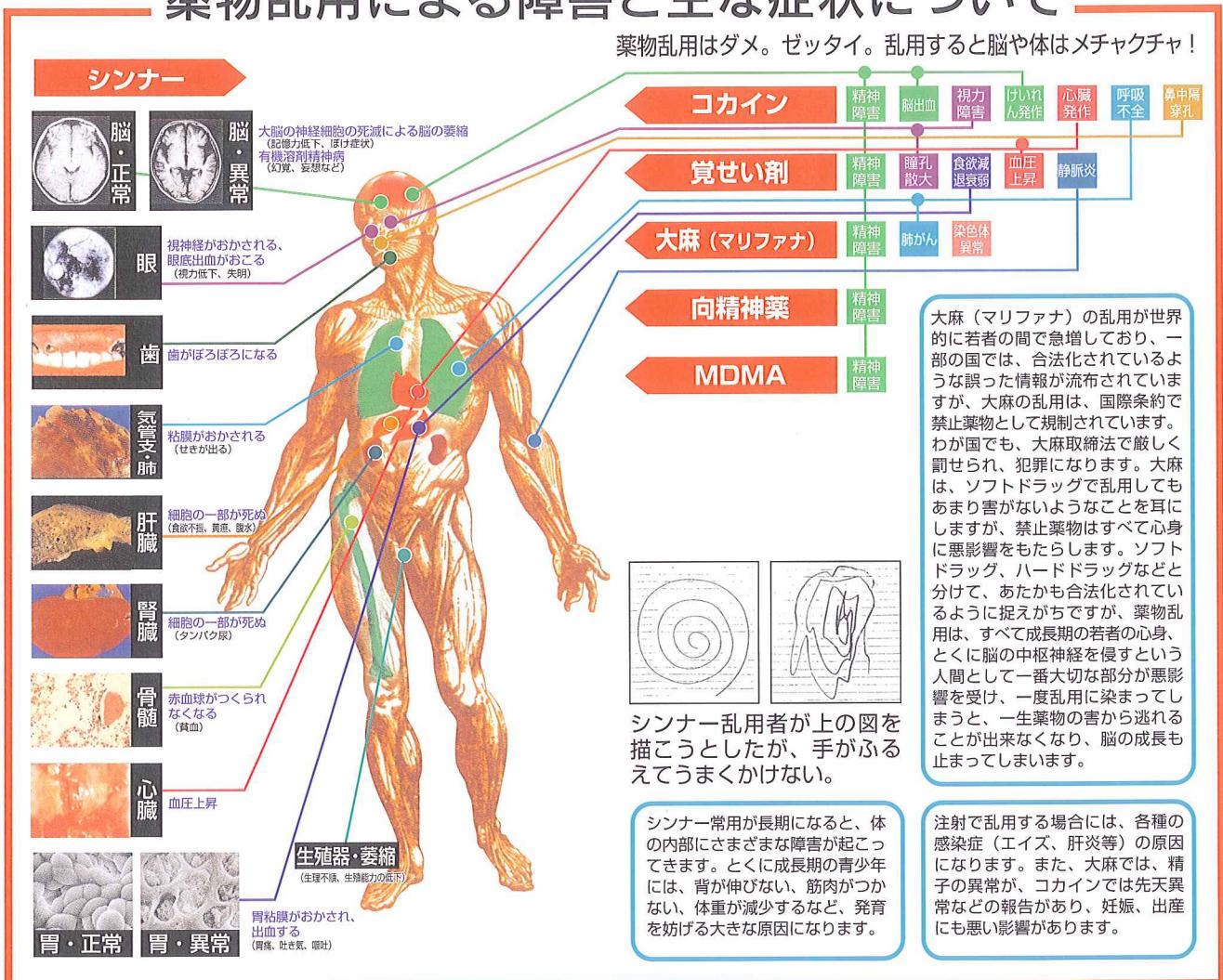
薬事法違反として疑われるのですが、規制を逃れるために使用目的を偽って販売されています。

この違法ドラッグの乱用が拡大しており、更にこれをきっかけに麻薬や覚せい剤の乱用に発展する危険性が増大しており、問題となっています。

なぜ、薬物乱用はいけないのか

1 脳をおかされて、心も体もメチャクチャになる。

薬物乱用による障害と主な症状について



2 自分の意志では止められなくなる。

薬物乱用の最も恐ろしい特徴は、薬物の「依存性」と「耐性」

依存性

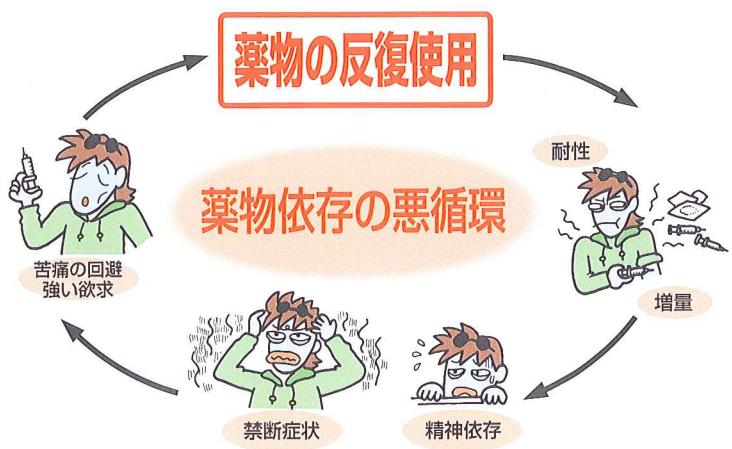
1回だけならと思っても、また使いたくなり、繰り返し使う内に薬物の使い方のコントロールがきかなくなってしまう。

耐性

使用を繰り返しているうちに、それまでの量では効き方がうすれていく。

一回だけと思って始めた人も、薬物の「依存性」と「耐性」によって使用する量や回数がどんどん増えていき、どうしようもない悪循環におちいります。

もはやそうなると、自分の意志だけでは止めることができません。



③ 薬物乱用により凶悪な事件が発生する。

○薬物の乱用により、幻覚、妄想が現れ、通り魔殺人等の重大犯罪を引き起こす。

④ 薬物欲しさに犯罪をおかすようになる。

○薬物入手するための金欲しさに恐喝事件や窃盗事件を起こす。

○密売や乱用の勧誘など、犯罪をおかすようになる。

⑤ 法律できびしく禁止されていて、重い刑を受ける。

例えば、覚せい剤を違法に使用した場合、10年以下の懲役に処せられます。

覚せい剤取締法／麻薬及び向精神薬取締法／あへん法／大麻取締法／毒物及び劇物取締法

⑥ 友達や家族を失う。

○薬物におぼれ、人間関係の破壊により、友達、家族から孤立する。

薬物乱用の甘い誘いに気をつけよう!

～甘い誘い～

- クスリでちょっと遊ぼうよ
- おもしろいクスリがあるんだけど
- やせられるよ
- 肌がきれいになるよ
- 眠気がとれて、勉強できるよ
- とりあえず、預かってよ
- ちょっとだけ試してみない

- みんなやっているよ
- イライラがとれてすっきりするよ
- ただの栄養剤だよ
- 最高の気分が味わえるよ
- 1回なら平気さ
- お金はこの次でいいよ

「ダメ。ゼッタイ。」と断る勇気を持とう!

○薬物乱用の危険性は身近にあり、自分には関係ないと思わないこと。

○誘われても「ダメ。ゼッタイ。」と断る勇気を持つこと。

○一人で悩まないで友人や家族に何でも相談すること

乱用は、しない、させない、近づかない!

<たった一度が命取りです。薬物乱用はゼッタイにやめましょう。>

薬物乱用をなくすために大切なことは、一人一人の「乱用しない」自覚と「乱用させない」、「乱用される薬物を近づけない」機運を盛り上げることと言えます。

薬物乱用防止のために、沖縄県では約230名の沖縄県薬物乱用防止指導員の皆さん
が、それぞれの地域に根ざした啓発活動を行っています。

薬物乱用を許さない社会環境をつくるため、
「愛する自分を大切に。Yes To Life, No To Drugs. 薬物乱用はダメ。ゼッタイ。」を
合い言葉に、薬物乱用防止運動の輪を広げていきましょう。

覚せい剤・シンナー等の相談は

最寄りの保健所又は薬務衛生課へ

北部保健所 電話 0980-52-2714 南部保健所 電話 098-889-6351

中部保健所 電話 098-938-9886 宮古保健所 電話 0980-72-2420

中央保健所 電話 098-854-1005 八重山保健所 電話 0980-82-3240

○沖縄県総合精神保健福祉センター TEL 098-888-1443

○沖縄県福祉保健部薬務衛生課 電話 098-866-2215 FAX 098-866-2241

麻薬・大麻・覚せい剤の情報は

○最寄りの警察署又は沖縄県警察本部 代表電話 098-862-0110

○九州厚生局沖縄麻薬取締支所 電話 098-854-2584

講習会等に関する相談は

○沖縄県薬物乱用防止協会 電話 098-864-5479